

群馬工業高等専門学校

令和6年度卒業式・修了式式辞

ただ今卒業証書を授与された本科生 188 名の卒業生の皆さん、卒業、おめでとうございます。そして修了証書を授与された専攻科生 38 名の修了生の皆さん、修了おめでとうございます。この良き日を迎えられたことを心から嬉しく思います。

また、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。入学以来今日までお子さまの成長を見守り支え、学校の教育活動にご協力をいただき、ありがとうございました。教職員を代表して深く御礼を申し上げます。

さらに、ご多忙の中、この晴れの式典にご臨席賜りました群嶺テクノ懇話会会長の鈴木様、後援会会長の吉田様におかれましては、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生・修了生の皆さん。卒業証書、修了証書を手にした今、改めて群馬高専で過ごした日々を振り返り、在学中の様々な経験を思い出されているのではないのでしょうか。

皆さんが入学された時期は、新型コロナウイルス感染症によって様々な活動が制限された時期でした。慣れないリモートでの授業への対応に苦労したことなども今となっては良い経験となっていることでしょう。

そして、コロナ禍が明けた以降は、毎日の授業や実習・演習の他に、工華祭や体育祭、社会見学旅行といった学校行事、さらには、部活動、インターンシップ、各種コンテストへ参加し、最終学年では、就職や進学に向けた活動をしながら、卒業研究・特別研究にも取り組みました。時には、課題やレポート、さらに試験や課外活動などが加わり、悪戦苦闘したこともあったでしょう。皆さんは、それらに果敢にチャレンジし、ひとつひとつ乗り越えてきました。

皆さんが今手にした卒業証書・修了証書は、そうした在学中にあったあらゆることにチャレンジをし、乗り越えてきた証しなのです。

ところで、今年 2025 年は、21 世紀のうち最初の四半世紀を迎えた節目の年でもあります。この 2025 年に向けて、今から約 20 年前、2007（平成 19）年 6 月、政府は、「長期戦略指針「イノベーション 25」」を閣議決定しています。

この中では、当時から約 20 年後の 2025 年、つまり今年には、イノベーション・科学技術の進歩によってどのような社会になっているだろうかということが予想されています。そのうちいくつかを取り上げてみると、例えば、

- ・ カード等の形で電子チップ 1 個を保持していれば、個人情報保護された安全・安心な環境下で各種代金の支払いや公的手続き等が全てできるようになっている。
- ・ テレワークの普及により、自宅で仕事をしながら子育てができる生活が実現されている。
- ・ いつでもどこでも最新のニュースが見られるような携帯ディスプレイ
- ・ 自動翻訳機の普及等により、誰もがあらゆる国の人々とコミュニケーションを行うことができ、相互理解が深化している。
- ・ バーチャルリアリティ（仮想現実）技術が進化し、家に居ながらにして現実社会を

実感できるようになっている。

などは、ある程度実現できていると言って良いでしょう。

他方で、

- ・ 再生医療技術、高度介護ロボット、対認知症特効薬等のおかげで、いわゆる「寝たきり」病人は激減している

であったり、

- ・ 地震、津波・高潮、土砂崩れ・洪水、台風等の自然災害が起きる場合にも、高度な予測技術と災害情報ネットワークの高度化により被害は劇的に減少する。

などのように、「まだまだこれからなもの」もいくつか残っています。

では、次の 25 年後、2050 年には、私たちの社会はどのようなになっているのでしょうか？先ほど見た「まだまだこれからなもの」も達成され、ものによっては、さらにその先まで進んでいることでしょう。そればかりか、イノベーション、すなわち科学技術の進歩によって、新しい考え方や技術を取り入れて新しい価値を生み出し、さらなる社会変革がなされていることでしょう。それらを実現していくのは、もちろん、皆さんです。

この「長期戦略指針「イノベーション 25」」には、次のような一節があります。

「これまでの歴史に共通しているのは、その出発点には、「一見不可能とも思える高い目標」、「困難に立ち向かいそれを現実のものにしようとするチャレンジ精神旺盛な人」、そして「高い志を持った人たち」が存在していたことである。その目標に向かった様々な挑戦、数々の失敗、そして成功の女神が微笑む幸運によって、大きな飛躍がもたらされてきた。」

皆さんは、在学中、様々なことにチャレンジし、乗り越えてきました。そして、本校の教育目標である「将来、より高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者」へと成長し、今日この群馬高専から新たなステージへと旅立っていきます。

皆さんが歩んで行かれる先では、乗り越えなければならない「一見不可能とも思える高い目標」や「困難」が待ち受けているかも知れません。しかし、皆さんは、ここ群馬高専で培ったチャレンジ精神と知識・技能を十二分に発揮して、それらを克服し、「成功の女神が微笑む幸運」を呼び込み、社会にとって「大きな飛躍をもたらす」ことができると、私は確信しています。

皆さんが、これからの新たな未来を創り、大きな飛躍をもたらす技術者として活躍し続けていくことを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

卒業、修了、おめでとうございます。

令和 7 年 3 月 19 日

群馬工業高等専門学校 校長
三 谷 卓 也